

III 持続可能で満足度の高い国際文化観光都市を目指した観光振興の充実



1 観光地における混雑緩和策：56,519千円【観光MICE推進室】 宿泊税活用事業

(1) 事業概要

近年、観光客の増加・集中により、市民生活にも影響が生じているため、観光地等において、市民生活と観光との調和を図るための混雑緩和策を強力に推進します。

(2) 実施内容

① 混雑緩和のための観光案内標識の設置・改良：24,500千円

設置場所：観光地の他、分散化につながるエリア

② 手ぶら観光の普及促進：25,900千円

国内外の観光客に対する手ぶら観光等の普及啓発を強化します。

- HPによる情報発信、動画PRやSNS（ウェイボー等）、国内・海外誌の掲載による情報発信
- 市バス混雑緩和のための手ぶら観光等の普及啓発

③ 観光バスの路上滞留対策：4,100千円

路上滞留箇所において、観光バスの乗務員等に対して啓発文を手渡す等、駐車場利用を促す啓発活動を行うとともに、警察などの関係機関と連携し、観光バスに対する効果的な誘導・啓発策を検討します。

④ 臨時観光案内所の充実：2,019千円

平成27年度から京都駅に設置している臨時観光案内所について、開設期間を延長します。

2 地域と連携した観光と市民生活の調和推進事業：6,100千円【観光MICE推進室】 宿泊税活用事業

(1) 事業概要

近年、外国人をはじめとする観光客の急増により観光地周辺地域等において生じている課題に対して、地域住民等により構成される団体などが実施する混雑対応やマナー啓発など、市民や観光客の安心・安全の確保に向けた取組等に対して支援を行います。

(2) 実施内容

混雑時の警備・誘導、マナー啓発の実施など、地域団体等が行う観光課題の解決を図る自主的な取組に対して補助金を交付します。

- 補助率：2/3以内
- 補助上限額：1,000千円



地域住民等による啓発活動

3 旅館をはじめとする宿泊施設の経営強化・魅力発信事業：19,100千円【観光MICE推進室】 宿泊税活用事業

(1) 事業概要

日本の文化や伝統を感じられる施設である旅館の振興を図るため、旅館の経営力強化や魅力発信に向けた取組を支援します。また、宿泊サービスの質の向上につなげるとともに、従業員の定着率向上を図るため、宿泊施設従業員等を対象に歴史・文化体験研修等を実施します。

(2) 実施内容

- ① 旅館の経営力強化と魅力発信：14,300 千円
 - 各施設の経営強化を目的とした税理士等の専門家の派遣：8,500 千円
 - 市内旅館の担い手育成に向けた若手合同研修会の実施：2,300 千円
 - Ryokan ブランドの構築に向けた海外向け PR：3,500 千円
- ② 宿泊税の円滑な導入に向けた宿泊事業者支援：4,800 千円
宿泊施設への専門家派遣を実施します。



旅館 PR マンガ

4 京都の温泉観光魅力発信事業：10,000千円【観光MICE推進室】

(1) 事業概要

国内外の観光客に人気の高い観光資源である温泉の更なる活用を図るため、京都市温泉観光活性化協議会が実施する新たな温泉 PR 映像の製作やチラシの多言語化など、温泉観光の推進に向けた取組を支援します。

(2) 実施内容

- ① 温泉 PR 映像（多言語対応）の製作・発信：3,200 千円
温泉施設の映像に、食や周辺観光地等の魅力的なコンテンツを加えた PR 動画を製作します。
- ② SNS での情報発信：3,000 千円
- ③ インバウンド対応の強化：3,800 千円
 - 温泉観光チラシの多言語化（中国語（繁体字）・ハングル）
 - 京の冬の旅と連動した温泉キャンペーン



京都市温泉観光活性化協議会 PR 動画

5 インバウンド需要獲得強化・マナー啓発事業：34,800千円【観光MICE推進室】

宿泊税活用事業

(1) 事業概要

外国人観光客の消費意欲を促進し、着実に市内経済の循環につながるよう、市内事業者が行う受入環境整備を支援するほか、生活習慣の違いなどから生じる外国人観光客のマナー向上に向けた啓発の取組を強化します。

(2) 実施内容

- ① 外国人観光客受入環境整備助成金制度の創設：11,000 千円
市内事業者等が行う受入環境整備（キャッシュレス対応、多言語整備等）に対し、助成金を交付します。
 - 補助率：1/2 以内（上限 200 千円）
- ② 新たな免税制度の拡充に伴う免税対策強化支援：6,300 千円
相談窓口や個別訪問による助言、免税店向け多言語コールセンター等によるきめ細やかな支援を実施します。
- ③ 多言語対応及び食やナイトライフ情報等の発信強化：7,500 千円
飲食店事業者等のおもてなし力の向上に向けた外国語対応研修を実施するとともに、食やナイトライフ等の消費拡大に向け、夜間に営業する店等の情報発信を実施します。
- ④ 外国人観光客のマナー啓発の強化：10,000 千円
京都の習慣やマナー等をわかりやすく伝えるためのステッカー等を作成・配布します。

6 ユニバーサルツーリズム普及促進事業：2,500千円【観光MICE推進室】

宿泊税活用事業

(1) 事業概要

本市では、これまでから高齢者、障害者、乳幼児等の入浴客の受入環境を整備するため、「京都ユニバーサル観光ナビ」による車いすモデルコースの紹介や、車いすの貸出し事業等に取り組んでいます。

(2) 実施内容

① 「京都ユニバーサル観光ナビ」・車いすの貸し出し事業の運営：2,050千円

バリアフリー情報や車いすモデルコースを WEB で情報発信を行います。

② おもてなし講習会：450千円

市内の観光施設従業員等を対象に、多様なニーズを持った観光客の受入機運醸成につながる講習会を実施します。



京都ユニバーサル観光ナビ

7 京都市DMOの推進（市民生活と観光との調和に向けた取組の推進）：10,000千円

【観光MICE推進室】 宿泊税活用事業

(1) 事業概要

近年、観光客の増加等に伴い、観光地周辺が混雑するなど、市民生活に影響が生じており、こうした課題を早急に解消していく必要があります。このため、観光地経営の舵取り役である京都市DMOが中心となり、特に「市民生活と観光の調和」を最優先に、観光客受入環境等の改善に向けた新たな取組の検討・試行実施等に取り組みます。

(2) 実施内容

観光地の分散化に向けた取組の実施

観光経営の担い手育成に取り組む大学と連携して、旅行者個人ごとの旅行情報等を把握・分析し、きめ細やかで効率的な情報発信に取り組むとともに、観光客の継続的な誘客や周辺地域への誘導を推進し、観光地の分散化を図ります。

8 観光・文化コンテンツの発信力強化事業：127,300千円【観光MICE推進室】 宿泊税活用事業

(1) 事業概要

国内外からの観光客に、より奥深い京都の魅力を発信し、京都観光の満足度を高めていただくため、京都観光オフィシャルサイトの機能強化を行います。

(2) 実施内容

① 京都観光オフィシャルサイト機能の充実

- エリア別、朝・夜観光、文化体験の紹介等、魅力的なコンテンツの充実
- 観光地の混雑緩和に資する自動経路作成機能等の追加
- AIを活用した観光案内自動応答プログラムの導入による利便性の向上
- サイト利用者の属性や関心に応じたよりきめ細かな情報やマナー情報の発信

② ウェブ統括官の配置

本市が発信すべき情報（災害等）の即時発信や閲覧数の向上、ウェブデザインの構築など、オフィシャルサイト全体のクオリティを統括・管理するため、ITやデザイン等のサイト構築、情報発信、分析等について高い見識を持つ、ウェブ統括官を市観光協会に配置します。

9 隠れた名所の活用等による観光地分散化：20,000千円【観光MICE推進室】 宿泊税活用事業

(1) 事業概要

一部の観光地に観光客が集中し、混雑による課題が顕在化する中、多様なエリアの魅力ある名所や見どころを発信し、観光客の集中緩和を図るとともに、新たな京都観光の魅力づくりにつなげます。

(2) 実施内容

① 「場所」の集中緩和

- 観光客を惹きつける潜在力を持つ寺社の魅力を再構築し、情報発信を行います。
- 観光客の回遊性向上や文化財の保存・継承のための資金調達、伝統産業の仕事の機会の確保を図ります。

② 「時間」の集中緩和

朝観光に加えて、夜観光の魅力発掘を行います。

- 民間事業者と連携し、夜観光の特集を情報発信
- 文化・芸術鑑賞や伝統芸能を体験できる施設などの情報発信

③ 「時期」の集中緩和

美術館や博物館などの展覧会との連携など、文化を基軸としたコンテンツの発信を強化し、通年型の魅力を PR します。



夜観光の推進

10 修学旅行生誘致に向けた取組の充実：6,300千円【観光MICE推進室】 宿泊税活用事業

(1) 事業概要

修学旅行生の安全対策（案内誘導員配置の強化）や、修学旅行生の誘致や実施時期の分散化に向けた学校訪問活動の強化など、修学旅行生の満足度向上に向けた取組を進めます。

(2) 実施内容

① 混雑するエリアへの対応：3,500千円

- 地下鉄利用を促進することにより混雑を避けるとともに、訪問先観光地を分散化することを目的とした周遊コース等の提案について、チラシやWEBによる周知を行います。
- 修学旅行生の安全確保と案内誘導を行うための案内誘導員の配置を強化します（春、秋の修学旅行シーズンにおける五条坂交差点など）。

② 修学旅行時期の閑散期等への誘導：2,800千円

旅行会社や旅館等と連携した学校への状況調査（修学旅行時期の決定要因や修学旅行に求めるもの等）を行うとともに、閑散期等への誘導に向けた学校訪問活動を強化します。

11 「とっておきの京都」プロジェクト：52,000千円【観光MICE推進室】 宿泊税活用事業

(1) 事業概要

地域の特性に応じた多様なエリアへの誘客を図るため、地域や観光関連事業者等と連携した取組を実施します。

(2) 実施内容

① 観光地経営事業者（DMC）の育成支援

地域に根差し、継続的に地域の魅力や地域資源の新たな価値を提供し続ける観光地経営事業者（DMC：Destination Management Company）に対して、本市DMOと連携し、マーケティング、観光コンテンツの開発、地元との関係構築など、地域への誘客につながる取組を支援します。

② 誘客キャンペーンの実施やプロモーションの強化等

地域、交通事業者、メディア等の民間事業者等との連携の下、各エリアの特性に応じた誘客キャンペーンの実施や動画、ポスター等によるプロモーションの強化、地域の魅力を掘り起こした観光商品の造成等を実施します。



12 「夜観光」の魅力アップによる「宿泊観光」の推進：156,000千円【観光MICE推進室】 宿泊税活用事業

(1) 事業概要

年間を通じて様々なエリアで行われる民間事業者等によるライトアップ事業など、夜の魅力を発信する事業に対して行灯等の貸出し支援を行い、多様なエリアで夜の賑わいを創出するとともに、民間事業者と連携して「京都・花灯路」の魅力向上を図るなど、宿泊観光の更なる推進を図ります。

(2) 実施内容

- 京の夜魅力発信事業創出支援
- 「京都花灯路」、「京の七夕」

13 世界的なスポーツイベントを契機としたおもてなし強化事業：67,500千円

【観光MICE推進室】 宿泊税活用事業

(1) 事業概要

「ゴールデン・スポーツイヤーズ」と言われる3年間（平成31年～令和3年）は、世界的なスポーツイベントの日本開催が続くなど、これまで以上に多くの訪日旅行者が見込まれています。そうした中、令和元年度はラグビーワールドカップ（9月20日～11月2日）の観戦等を機に、訪日する外国人に京都へも周遊いただき、安心して快適に京都観光を楽しんでいただくとともに、外国人観光客にやさしい受入環境整備の更なる充実を図ります。

(2) 実施内容

① 外国人観光客受入環境整備助成金制度の拡充

市内事業者等が行う受入環境整備（キャッシュレス対応、多言語整備等）に対して助成金を交付します。

➤ 補助率：1/2以内（上限200千円）

② 駒札設置（わかりやすい多言語説明の拡充）

市内産木材を活用した名所説明立札のわかりやすい多言語化を推進します。

③ 世界的なスポーツイベント期間に合わせた臨時観光案内所の開設

訪日外国人が安心して快適に京都観光を楽しむため、スポーツイベント開催期間に合わせ、臨時観光案内所を開設します。

④ おもてなしキャンペーン（ラグビー観戦等を機に訪日する外国人の京都での消費拡大）

訪日外国人の旺盛な消費意欲を着実に市内に取り込むため、スポーツイベント期間にあわせ、市内の商店街、飲食店、小売店等と連携して、訪日外国人を対象としたキャンペーンを実施するほか、期間限定の体験型メニュー等を提供します。

14 「地域協働・貢献型宿泊施設促進制度」の創設：5,548千円【観光MICE推進室】

宿泊税活用事業

(1) 事業概要

地域の持続的発展に向けて宿泊観光の効果を市民生活の豊かさに一層つなげるため、地域団体等との協働によるまちづくりや地域貢献に取り組むなど、質の高い宿泊施設の拡大を図る「地域協働・貢献型宿泊施設促進制度」を創設し、各種支援に取り組みます（地域と宿泊施設の連携事業 3,500千円と京都らしい宿泊施設表彰制度 2,048千円の融合事業）。

(2) 実施内容

① 地域との調和を検討している宿泊施設への支援

地域との協働や地域貢献に取り組む宿泊施設の事例勉強会の開催や、地域と宿泊施設のマッチング、取組の企画・実施等に係る支援に取り組み、地域との調和を検討している宿泊施設を支援します。

② 地域との協働によるまちづくりや地域貢献に取り組む宿泊施設への支援

地域団体等と宿泊施設が協働により実施する地域活性化に資する事業の広報経費等への補助金や、「地域と調和し、貢献する」京都らしい宿泊施設の表彰、地域協働や地域貢献の優良事例を京都市情報館等でPRすることなどにより、地域との協働・地域貢献に取り組む宿泊施設を支援します。

➤ 補助金額：1/2以内（上限500千円）

15 MICE国際競争力強化推進事業：51,000千円【観光MICE推進室】

宿泊税活用事業

(1) 事業概要

誘致・受入推進体制の強化及び誘致活動の充実など、MICE国際競争力強化に向けた取組を展開し、MICEの開催件数の増加、市域への経済効果の拡大を図ります。

(2) 実施内容

① MICE誘致・開催支援

➤ 誘致・受入推進体制の強化（国際会議やMIの誘致・開催支援を行う体制を強化）

➤ 誘致活動の充実（欧州、アジアでのネットワーク強化、海外のMICE商談会への参加など）

② MICE 実態調査の実施

市内で開催される MICE の実態を把握することで、MICE 開催による経済効果等を見える化し発信するとともに、消費額向上等の施策展開につなげます。

16 「第4回UNWTO/UNESCO 観光と文化をテーマとした国際会議」の開催：45,000千円 【観光MICE推進室】 宿泊税活用事業

(1) 事業概要

国連世界観光機関（UNWTO）及び国連教育科学文化機関（UNESCO）の主催により、各国の観光・文化大臣が参集する、観光と文化の持続可能な在り方等をテーマとした会議を開催（令和元年12月11～13日）し、京都ブランドイメージの向上及びSDGsの実現につなげます。

(2) 実施内容

閣僚級会合、基調講演、分科会、宣言の採択等

17 観光関連産業担い手創造・育成プロジェクト：36,500千円【地域企業振興課】 宿泊税活用事業

(1) 事業概要

京都の観光関連産業を支える担い手の創造・育成を支援するため、「市外からの担い手確保」「市内の担い手確保・流出防止」「受入事業者の環境改善」を柱とした取組を実施します。

(2) 実施内容

① 市外からの担い手確保…京都への移住・定住促進

- 首都圏等で開催される日本最大級の就職フェアに出展します。
- 市内の観光関連事業者と、首都圏等の大学や専門学校とのマッチング機会の創出に取り組みます。
- 観光関連産業への就職に興味を持つ層に対して、民間就職サイトのビックデータを活用し、直接メルマガ等を送信します。

② 市内の担い手確保・流出防止…従業員の定着率の向上

- 若者従業員の定着率向上に向けたセミナーを実施します。
- 外国人の担い手も含めた、京都のおもてなし・文化・接客マナー向上のための出前型スキルアップセミナーを実施します。

③ 受入事業者の環境改善…雇用環境の改善

- IT活用等の生産性向上のための助言・指導を行う専門家を派遣します。

18 京都市DMOの推進（マーケティング力強化）：10,000千円【観光MICE推進室】

(1) 事業概要

京都への来訪経験がない人のニーズや、かつてのリピーターの訪問阻害要因及び京都の魅力への地域ごとの認識等を調査・分析し、より効率的かつ効果的に京都への誘客につなげていく施策を推進します。

(2) 実施内容

国内・国外へのWEB手法によるアンケート調査・分析

19 海外への情報発信強化：41,900千円 宿泊税活用事業

(1) 事業概要

各国の旅行動向に応じた、京都のきめ細かな情報発信に加え、消費意欲が旺盛で、周囲への発信力が強い欧米を中心とした富裕層誘致に取り組むとともに、宿泊観光を推進するため、海外に向けて歴史と文化が感じられる京都ならではの旅館の魅力を強力に発信します。

(2) 実施内容

① 海外情報発信・収集拠点の拡充【観光MICE推進室】

京都への旅行者数が著しく増加しているスペインやイタリア、富裕層が多いアメリカ西海岸の3箇所に、海外情報発信・収集拠点を追加設置します（11箇所→14箇所）。

② 海外富裕層誘致の推進【観光 MICE 推進室】

- 「日本ラグジュアリートラベルアライアンス」(※)における取組の推進
 - ※ 戦略的に海外富裕層誘致を目指す自治体（京都市・京都府・和歌山県・札幌市・石川県）の連携組織
 - ・ ILTM カヌヌ（12 月・フランス）等の富裕層向け商談会への出展
 - ・ 旅行会社やメディア等への情報発信 など
- 本市独自の取組
 - ・ 世界最大級の旅行博「World Travel Market」（11 月・イギリス）への出展
 - ・ 富裕層向けメディアの招請 など

③ RYOKAN ブランドの更なる発信【観光 MICE 推進室】

海外において、旅館に特化した商談会を開催し、旅館の魅力発信による誘客を図ります。

④ 京都コンテンツによる魅力発信事業【新産業振興室】

欧州最大の日本関連イベント「Japan Expo」（7 月・フランス）へ出展し、歴史、伝統、文化、マンガ・アニメ、映画など、京都が有するコンテンツの魅力の世界に発信します。

20 ロケ地情報の発信強化・作品誘致支援事業：17,200千円 **宿泊税活用事業**

(1) 事業概要

多様なエリアのロケ地の掘り起こしや、京都にゆかりのある作品制作を支援するとともに、より正確で詳細なロケ地情報や支援メニューの発信を強化することで、市内全域への更なる誘客を推進します。

(2) 実施内容

① 多様なエリアのロケ地の掘り起こしとロケ地情報等の発信強化【観光 MICE 推進室】

- 多様なエリアでの撮影可能なロケスポットの掘り起こしを行うとともに、ロケ地としての活用を促すため、周辺の観光地、飲食店、宿泊施設など、撮影時に必要となる情報を収集します。
- 新たに掘り起こしたロケ地情報の周知や、作り手側への正確でより詳細な情報提供等を、冊子やメディア支援センターのホームページにより発信します。

② 京都ゆかりのコンテンツ制作支援・PR 支援の強化【新産業振興室】

マンガ・アニメ・ゲーム・映画をはじめとした京都ゆかりのコンテンツに対し支援要請に応じた制作支援や PR 支援を行うための体制を強化します。

21 祇園祭創始 1150 年記念事業：9,000千円【観光 MICE 推進室】 **宿泊税活用事業**

(1) 事業概要

祇園祭創始 1150 年を契機に、祇園祭の魅力を、SDGs の理念と共に国内外に広く情報発信を行うことにより、祇園祭ひいては京都への誘客を図るとともに、巡行に復帰予定の鷹山（唐櫃（からびつ）巡行／令和元年）の情報発信を行いました。

(2) 実施内容

「祇園祭 PR 大使任命式」の実施

- 鷹山の囃子方による演奏や PR 大使任命式（フリーアナウンサー 宇垣 美里氏）、トークイベント（市長・（公財）祇園祭山鉾連合会理事長・フリーアナウンサー）等を実施しました。
- 開催日時：令和元年 5 月 18 日（土） 於：渋谷 MODI（東京都渋谷区神南 1-21-3）

22 「民泊」対策プロジェクトチームの取組：－【観光 MICE 推進室】

(1) 事業概要

「民泊」対策プロジェクトチームを中心に関係機関等と連携し、民泊の適正な運営の確保や、違法民泊の根絶に向けて取り組み、地域と調和の取れた安心・安全な宿泊環境の整備を図ります。

(2) 実施内容

① 「民泊」対策プロジェクトチーム会議の実施

平成 30 年度から、チーム構成局に行財政局・環境政策局を加え、民泊についての現状の共有や問題事項について議論し解決策を検討します

② 民泊仲介サイトの指導強化

民泊仲介サイトに掲載されている違法民泊の削除に向け、国や関係部局と連携し取組を推進します。

23 「市民生活と調和した持続可能な観光都市」推進プロジェクトチーム：－【観光MICE推進室】

(1) 事業概要

近年の外国人観光客の急増に伴う混雑対策やマナー問題の解決、受入環境の整備など、本市における市民生活と調和した観光の推進及び観光を通じた京都経済の活性化に向けた方策を検討します。

宿泊税について

国際文化観光都市としての魅力を高め、観光の振興を目的とした施策に活用するため、平成30年10月から、宿泊税の課税を開始しました。

令和元年度の宿泊税充当事業は、平年度化による税収増を活用し、「観光課題の解消、市民生活との調和を図る取組」はじめ、市民、観光客、観光関係事業者が宿泊税の導入効果を実感できる取組に充当します。

納税義務者

- ・ 旅館業法に定める旅館業を営む施設への宿泊者
- ・ 住宅宿泊事業法に基づく住宅宿泊事業を営む施設への宿泊者

税率

宿泊料金（1人1泊当たり）	税額
2万円未満	200円
2万円以上5万円未満	500円
5万円以上	1,000円

※ 宿泊料金には、食事代、消費税、入湯税等を含みません。

※ 修学旅行その他学校行事に参加する者及びその引率者は課税免除

納入方法

宿泊施設の経営者（特別徴収義務者）が、宿泊者から税金を徴収し、納入

<宿泊税の活用例>

美しい景観の保全、わかりやすい観光案内、道路の渋滞及び混雑解消、京町屋の保全・継承、違法民泊の適正化 等